

令和6年度 4歳児 「運動会玉入れ」

(令和6年度実践前修正箇所を斜体、
実践後修正箇所を囲み文字にて示す。)

1. 期間 9月～10月

2. 設定の理由

3歳時には、園庭の芝生で思い切り走ったり、固定遊具やゲームボックス、太鼓橋などを使ったりして体を動かす楽しさを感じてきた。また、転がしたり、投げたり、追いかけてたりしてボールの動きに合わせて体を使う遊びも経験してきている。また、教師や友達と一緒に遊具で遊んだり、追いかけてっこをしたりして、一緒に動かす楽しさも感じてきている。

4歳の1学期には、園庭で思い切り走ったり、固定遊具で遊んだり、バスケットボールなど本登りをしたりして、様々に体を動かすことを楽しんできている。その中で、固定遊具の高いところに登りたい、バスケットボールでゴールで決めたい本登りで上まで登りたいなど、少し難しいことに向けてできるようになりたいと思い、繰り返し取り組む姿も見られるようになってきている。また、タイドロで追いかけてたり追いかけられたりして友達や教師と一緒に遊ぶ楽しさを感じたり、勝ち負けがあることで、勝って嬉しい気持ちや負けて悔しい気持ちを、友達と一緒に感じたりする経験をしてきている。

3歳での経験と、4歳1学期での経験をもとに、できるようになりたい、上手になりたいと具体的な目的をもって、考えたり試したりして何度も取り組むなかで、できるようになったり、前よりも上手になったりしたことを嬉しいと思ったり、自信をもったりするように、玉入れを設定する。また、玉を入れられていない友達のことを思ったり、チームが勝てるようにどうしたらいいか考えたりして、思いついたことをしようとするように、玉入れのルールを設定する。

玉を入れたい、玉を遠くまで投げたい、速く走りたいと思って繰り返し取り組む中で、自分の頑張りを感じられるように、頑張りを褒めたり、励ましたりしていききたい。また、同じチームの友達と玉を投げたり、走ったりする中で、友達と一緒に玉入れをする楽しさを感じられるように、応援し合ったり、一緒に喜んだりする子どもの気持ちに共感していききたい。その過程で、玉入れのこと投げたり走ったりすることが得意な友達の個性やすごいところに気付けるように、その姿を知らせたり、互いがしているところを見合う時間を設けたりしていききたい。そして、勝ちたいという思いを大切に、勝てるようにどうすればいいか考えたりしようとするように、工夫して投げたり、遠くに投げたり速く走ったり、一生懸命友達を応援したりする子どもに目が向くような言葉を掛けたり、勝ったことを一緒に喜んだり、負けたことを悔しがったりしていききたい。カゴの中に入っている玉の数を見比べたり、勝敗を判断したりすることで、必然的に数量に関する学びも期待することができる。

3. ねらい

- ① 玉を入れたい、たくさん入れたい、遠くに投げたい速く走りたい、自分の色の玉を投げ切りたい速く片付けたい、勝ちたいという気持ちをもって、何度も玉を投げたり、~~走ったり~~玉を拾い集めたりして取り組もうとする。 自ら決める・選ぶ
- ② 玉をたくさん集められた、玉を入れられた、自分の色の玉が2個共入った、チームが勝ったという楽しさを感じたり、前よりも遠くへ玉を投げられたこと、たくさん入れられたこと、前よりたくさん練習したことなどの自分の頑張りに満足したりする。 自分に満足する
- ③ 友達と一緒に玉を投げたり走ったり拾い集めたりすることや友達と一緒に応援することを楽しんだり、友達や先生、年少児や年長児に応援してもらうことを嬉しく思ったり、チームが勝った楽しさや負けた悔しさを一緒に感じたりする。 他者という喜びを感じる
- ④ 玉を遠くまで投げている友達、玉を的まで投げている友達、玉をたくさん入れられる友達、自分の色の玉を2個共入った走ることが速い友達を見て、友達のすごいところに気付いたり、たくさん練習している友達の頑張りを知ったりする。 他者のことを知る
- ⑤ 何度も挑戦して、うまくいかなかったことが成功するようになった自分の成長に 自分のことを知る

気付く嬉しく思う。

- ⑥ 玉が入らなくて困っている友達を気にかけて投げ方のコツを教えてあげようとして、玉を拾って渡したり、座る場所を教えたり、応援したりする。
- ⑦ チームが勝てるように、合図が鳴ったらすぐに走り出したり、できるだけ多くの玉をカゴの近くに投げて玉入れをする。玉を集まるようにめようとしたり速く走るための練習を呼びかけたり、落ちた玉を素早く拾って友達に渡したりするなど考えたことを言ったり、友達の考えを聞いたりして、自分にできることをしようとする。
- ⑧ どうしたら遠くにある玉入れのカゴに近付くようにコーンに玉を投げられるのか当てられるのか、玉が入るのかを考え、カゴをよく見て投げたり、投げる角度や力加減や手や腕の動かし方、膝の使い方、足の開き方、上半身の動かし方などを考えたり試したり、投げる角度や力加減を調節したりする。また、力いっぱい走ることを楽しむ。
- ⑨ 玉を投げる強さや角度、距離、足の開き方によって、玉の飛ぶ方向や入りやすさが違うことを、何度も試して感じる。
- ⑩ 投げた玉やカゴに入っている玉の数を見比べたり、数を数えたりして、数や量の多少を感じる。また、数の多少で勝ち負けの判断をする。

他者のことを考えて行動する

人と物事をすすめる
問題を認識する
豊かに発想し、追及の手立てを構想する

身体を操作する
問題を認識する
豊かに発想し、追及の手立てを構想する

事物・現象を捉える

数・量を捉える
比較する

4. 展開

玉を投げて遊ぶことを楽しむ

A【玉を投げて遊ぶこと楽しむ】

- ・ 玉をたくさん投げたいと思って玉投げをする。
- ・ 遠くにある~~コーン~~に玉入れのカゴをねらってと~~思~~って玉投げをする。
- ・ 友達と一緒に玉を投げたり拾ったり応援したりすることを楽しむ。
- ・ 手首や腕を使って玉を投げる。
- ・ 投げる強さによって玉が飛ぶ距離が変わることを感じる。

玉入れをすることを楽しむ

B【玉入れをすることを楽しむ】

- ・ 玉を入れたい、たくさん入れたいと思って何度も玉入れをする
- ・ 自分の色の玉が入ったことを喜ぶ
- ・ 友達と一緒に玉を投げるたり、走ったりする
- ・ 対決し、勝ったことを喜ぶ
- ・ どうしたら玉を入れられるかを考え、カゴをよく見て投げたり、投げる角度や力加減、カゴとの距離を考えたり試したりする
- ・ ~~力いっぱい走ることを楽しむ~~
- ・ 玉を投げる強さや角度によって、玉の飛ぶ方向や入りやすさが違うことを感じる
- ・ カゴに入っている玉の数を見比べたり、数えたりして、数や量の多少を感じる

勝ちたいと思って対決することを楽しむ

運動会で対決することを楽しむ

C【チームが勝つために自分のできることをしようとしたり、勝った喜びや負けた悔しさを友達と一緒に感じたりする】

- ・ 勝ちたいと思って何度も取り組もうとする
- ・ 前よりも入れられた、前よりも遠くへ玉を投げられたことを感じ、たくさん練習した自分の頑張りに満足する
- ・ 友達を応援することを楽しんだり、友達に応援してもらうことを嬉しく思ったり、チームが勝った嬉しさや、負けた悔しさを感じたりする
- ・ 友達の姿を見たり聞いたりして、すごいところに気付いたり、頑張りを知ったりする
- ・ 玉が入らなくて困っている友達を気にかけて、玉の投げ方を教えてあげようとしたり、拾って渡したり、座る場所を教えたり応援したりする
- ・ チームが勝てるように、自分にできることをしようとしたり考えたりする。

A【玉を投げて遊ぶことを楽しむ】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・ 玉をたくさん拾って投げたい、遠くにある 玉入れのカゴの近くに投げたいコーンに当てたい、勝ちたいと思って玉を投げをする。 ・ 友達と一緒に玉を投げたり拾ったり応援したりする。 ・ 手首や腕を使って思い切り投げる。 ・ 投げる強さによって玉が飛ぶ距離が変わることを感じる。	○ 玉をたくさん自分の陣地に投げ返したい相手 チーム、遠くにある 玉入れのカゴの近くにコーンに投げたいと思って玉を拾ったり投げたりしようとする。① ○ 友達と一緒に玉を投げたり拾ったり応援したりすることを楽しむ。③ ○ 手首や腕を使って玉を投げたり投げる感覚をつかんだりする。⑧ ○ 投げ方によって玉が飛ぶ様子や距離、位置が変わることを感じる。⑨ ○ どうすれば投げたい場所にボールを投げられるのかを考えて、力加減、手や腕の動かし方、足の開き方、上半身の体の動かし方などを考えたり試したり、力加減を調節したりする。⑧ ○ 玉をたくさん集められた、前よりも遠くへ玉を投げられたことを感じて、嬉しく思ったり自分の頑張りに満足したりする。②	◎ 玉をたくさん自分の陣地に投げ返したい、相手 チームに投げたい、遠くにある 玉入れのカゴの近くに投げコーンに当てたいと思って玉を拾ったり投げたりしようとするように、すぐに拾って投げたり集めたりしている姿をほめたり、行き来する玉の量を言葉にしたりする。 ◎ 友達と一緒にする楽しさを感じられるように、クラス毎にチームを組んだり、始める前に気合いを入れたり、楽しさや嬉しさを言葉にしたりする。 ◎ 手首や腕を使って投げたり投げる感覚をつかんだりするように、繰り返し投げられるような遊びを提案したり、投げている友達の動きを言葉に見せたりする。 ◎ 色々な投げ方をやってみて玉の飛ぶ様子や距離や位置が変わることを感じられるように、投げた後の玉の飛んでいく様子を言葉にしたり、どうだった感じたか尋ねたり、投げ方を変えている友達の姿を見せたりする。 ◎ 狙っている場所に玉が飛んでいく投げ方を考えたり試したりするよう、色々な投げ方を一緒に試してみたり、子どもが試している投げ方や以前の投げ方との違い、投げた後の玉の様子を具体的に言葉にしたり驚いたり、投げている友達の足元や手の動き、体の向きに注目させたりする。 ◎ 自分の頑張りを感じられるように、玉がたくさん集まっていることや遠くに飛んでいく玉を見て驚いたり、玉を集めたり遠くに投げたりするために考えて色々試してきたことを思い出させたりその姿に感心したりする。

B【玉入れをするを楽しむ】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・ 玉を入れたい、たくさん入れたいと思って何度も玉入れをする	○ 玉を入れたい、自分の色の玉を投げ切りたいたくさん入れたい、速く片付きたいという気持ちをもって、何度も玉を投げたり、走ったり、玉を拾い集めたりして取り組もうとする	◎ 玉を入れたい、自分の色の玉を投げ切りたい、たくさん玉を入れたいなど、やりたいことに向けて繰り返し取り組もうとするように、たくさん入れたい、勝ちたい今度こそ入れたいなどの気持ちを盛り上げ、何度も玉を投げたり、走った 走る姿や頑張りを褒めたり、励ましたり、教師も一緒に玉入れをしたりする。 ◎

・ 玉が入ったことを喜ぶ ・ 友達と一緒に玉を投げたり、走ったりする ・ 対決し、勝ったことを喜ぶ ・ 自分の成長や頑張りに気付く ・ どうしたら玉を入れられるかを考え、カゴをよく見て投げたり、投げる角度や力加減を考えたり試したりする ・ 力いっぱい走ることを楽しむ ・ 玉を投げる強さや角度によって、玉の飛ぶ方向や入りやすさが違うことを感じる ・ カゴに入っている玉の数を見比べたり、数えたりして、数や量の多少を感じる	① ○玉を入れられた嬉しさを感じる② ○友達と一緒に玉を投げたり、走ったりすることを楽しむ③ ○何度も挑戦して、うまくいかなかったことが成功するようになった自分の頑張りに気付く④ ○どうしたら玉が入るのかを考え、カゴをよく見て投げたり、投げる角度や力加減、手の動かし方、膝の使い方、足の開き方などを考えたり試したり、投げる角度や力加減を調節したりする。⑧ ○力いっぱい走ることを楽しむ⑦ ○玉を投げる強さや角度や距離、足の開き方によって、玉の飛ぶ方向や入りやすさが違うことを、何度も試して感じる⑨ ○投げた玉の数やカゴに入っている玉の数を見比べたり、数を数えたりして、数や量の多少を感じる。また、数の多少で勝ち負けの判断をする⑩	◎玉を入れられた嬉しさを感じられるように、入った瞬間のタイミングで褒めたり、一緒に喜んだりする。 ◎友達と一緒にする楽しさを感じられるように、友達と玉を投げたり走ったりする楽しさや嬉しさを言葉にしたり、一緒に喜んだり、友達の様子や名前を声に出したりする。 ◎何度も挑戦している姿を応援したり、頑張っている姿を具体的に言葉にして褒めたり、成功したことを一緒に喜んだりする。 ◎玉が入る投げ方を考えたり試したりできるように、なぜ入らなかったのか、どうしたら入るのかを尋ねたり、一緒に考えたり、互いが投げる姿を見合う場を設けたりする。そこで、友達の投げ方や投げる速度、投げる角度、身体の使い方などを具体的な言葉で知らせたり、教師も一緒にやってみたりする。 ◎力いっぱい走りきる気持ちよさを感じられるように、教師も一緒に走って、楽しさを受け止めたり、走るために必要で満足できる距離を確保してコースを用意したりする。 ◎自分が投げる強さや角度、玉入れのカゴまでの距離、足の開き方によって、飛ぶ方向や入りやすさが違うことを感じられるように、教師も一緒に試してみても感じたことを具体的に言葉にしたり、気付いた気持ちを受け止めたり、繰り返し試す姿を見せたり、カゴとの距離が分かりやすいように目印をつけたりする。 ◎遊びながら数や量の多少を感じられるように、数える前に比べて見たり、多少について尋ねたり、一緒に数えたりする。
--	--	---

C【チームが勝つために自分のできることをしようしたり、勝った喜びや負けた悔しさを友達と一緒に感じたりする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・ 勝ちたいと	○勝ちたいと思って、何	◎勝ちたいと思って、何度も取り組もうとするよ

思って何度も取り組もうとする ・前よりも入れられた、たくさん練習した自分の頑張りに満足する ・友達に応援してもらうことを嬉しく思ったり、チームが勝った嬉しさや、負けた悔しさを感じたりする ・友達の姿を見たり聞いたりして、すごいところに気付いたり、頑張りを知ったりする ・玉が入らなくて困っている友達を気かけ、玉の投げ方を教えてあげようとしたり、拾って渡したり、応援したりする ・チームが勝てるように、自分にできることをしようとする	度も取り組もうとする ① ○前よりも入れられた、たくさん練習した自分の頑張りを感ずる② ○友達に応援してもらうことを嬉しく思ったり、チームが勝った嬉しさや、負けた悔しさを感じたりする③ ○玉を遠くまで投げている友達、玉を2個共投げ切るまで投げている友達、玉をたくさん入れられる友達走ることが速い友達を見て、友達のすごいところに気付いたり、たくさん練習している友達の頑張りを知ったりする。④ ○玉が入らなくて困っている友達を気にかけて教えてあげようとしたり、玉を拾って渡したり、一緒に練習したり、座る場所を教えたり応援したりする。⑤ ○チームが勝てるように、合図が鳴ったらすぐに走り出す、落ちた玉を素早く拾って友達に渡す、カゴの近くに玉をたくさん投げておく、玉が落ちている場所を教えるなど考えたことを言ったり、友達の考えを聞いたりして、自分にできることをしようとする。⑥	うに、勝ちたいと思う気持ちを励まし、何度も取り組む姿を褒めたり、一緒に取り組んだりする。 ◎自分が頑張ったことに満足できるように、以前と比べて、玉をたくさん入れられた、たくさん練習したなど、一人一人の子どもが頑張っていることを具体的に褒めたり、自分で頑張ったと思っているところを聞いて受け止めたりする。 ◎自分の頑張りを自分の目で見え感じられるように、入った数の分の印をつけていくようなホワイトボード等を用意し、教師もやり方を見せながらやって見せたり、印の数を数えて驚いたり喜んだりする。 ◎友達に応援してもらうことを嬉しく思ったり、クラスの友達と勝つ喜びや負けた悔しさを感じられるように、嬉しさを言葉にしたり、勝てた時には教師も一緒に喜んだり、負けた時には悔しい気持ちに共感したり、励ましたりする。 ◎友達の頑張りの個性を知ることができるように、友達の頑張っている姿を知らせたり、互いがしている姿を見る時間や、気付いたことを話す場を設けたり気付いた気持ちを受け止めたりする。 ◎友達のことを気にかけて、してあげたいと思うことができるように、なかなか玉が入らなくて困っている友達がいることを知らせたり、困っている友達に気付いて投げ方や座る場所を教えたり応援したりする姿を褒めたり、友達のしてもらって嬉しい気持ちを伝えたりする。 ◎どうすればチームで勝てるか考えたりチームが勝つために自分にできることをしようとしたりするように、合図が鳴ったらすぐに走り出す、落ちた玉を素早く友達に渡してあげるなど、勝った理由や前より相手チームとの差が縮まっている理由を尋ねたり、自分が考えたことやしていることを話したり友達の考えを聞いたりする時間を設けたり、チームが勝つために何をしようか自分で考えて取り組む姿を褒めたり、他児に知らせたりする。
---	--	--